大平地域包括支援センター　担当

- 日　　時：　令和８年７月１５日（水）午後１時３０分～１時５０分
- 開催方法：　栃木市役所大平総合支所　第１・２会議室
- 事 例 数：　１ケース（令和７年１１月１９日検討した事例の振り返り）
- 参加者数：　１９名

［事例提供者１名、助言者６名、包括職員２名、
傍聴者１０名］

認知症の進行に伴い、家族の介護負担が増している84歳男性

〈目標〉1日:今日の日付や曜日の確認をする。

1年:毎日の日課が把握できる。

利用サービス：介護予防通所サービス

《前回会議での支援策》

認知症による失行や失認の進行に備え、本人の支援及び妻の介護負担軽減を図る。

《支援方針》

① 自宅で正しく歯を磨けているか確認し、定期的に歯科医院受診を続ける。
② メマンチン塩酸塩は副作用でふらつきがあるので転倒に気をつける。
③ 心配されている嚥下機能の低下に対するセルフトレーニングを妻と一緒に行うと良い。
④ 認知症の方に対する日常生活上の工夫にについて、資料を参考に日常生活に活かせると良い。
⑤ 本人がしてみたい庭の掃除などで何か役割が持てるようになると良い。
⑥ 物忘れの対策として、自分の名前の認識があれば、本人が日常生活で使用するものに本人の名前を表記しておく。
⑦ 甘い物や果物、イモ類糖質中心の生活だと脂質異常症になりやすい。おやつや果物を控えると良い。
⑧ 人とコミュニケーションをとることを継続するために、難聴の程度を把握すると良い。定期的に医療機関へ受診し聴力検査を行うと良い。
⑨ オレンジカフェは認知症に理解のある方がスタッフとして参加しているため、本人一人でも参加できることを情報提供する。

《支援結果・状況》

①⑤⑧⑨未達成：受診を考えているが、通院できていない。また、認知症の症状が悪化し、すべてに指示が必要な状態である。妻の姿が見えないと不安になる。

②③④⑥達成：認知症進行に伴う対策として栃木市 SOS ネットワークの登録を行った。また、家族が協力して、資料に基づいた言葉で返事をできるような問いかけやトレーニングを行っている。歯ブラシは、見えるところに本人のものだけを置くように工夫している。

⑦：※意見なし。